

社協からいづか

第253号



「魅力かがやき あたたかい 絆のあるまち」をめざして

6月10日に理事会、6月26日に評議員会を開催し、令和5年度事業報告・決算を認定しました。

事業報告のトピックス

本年度は、本会の活動指針である「第5次地域福祉活動計画（5カ年計画）」の1年目にあたり、その基本理念である「魅力かがやき あたたかい絆のあるまち 貝塚」の実現に向けて、地域住民や福祉活動を行う関係団体と連携を緊密に図りながら、地域福祉の推進に取り組みました。

小地域ネットワーク活動
見守り、声かけなどの個別援助を7957回実施。また、いきいきサロンなどグループ援助を762回実施。

地区福祉委員会活動
○統一テーマの推進
①献血事業…10校区16回
②独自ふれあい訪問…9校区24回
③機関紙の発行…9校区34回
○メニュー事業の推進
①青少年分野研修会…2校区
②人権分野研修会…2校区
③ボランティアスクール…2校区
④その他分野…5校区

ふれあい訪問事業
地区福祉委員会の協力で市内約181名のひと

高齢者等安否確認事業
ひとり暮らし高齢者等を対象に、ボランティアによる

ボランティア活動
新規ボランティアグループ立ち上げに伴うボランティア講座を行ったほか、保育ボランティアや福祉施設ボランティアの活動を行った。

移送サービス事業
移動が困難な高齢者や障害者などを対象に実施。2台の送迎車を運行し、延べ780回の利用。

子育て支援関連事業
子育て支援センター事業では、つどいの広場を延べ4823名が利用。一時預かり事業では、延べ492名が利用。

日常生活自立支援事業
判断能力が十分でない方が、地域で自立した生活をおくれるよう、70名の契約者にきめ細かいサポートを実施。

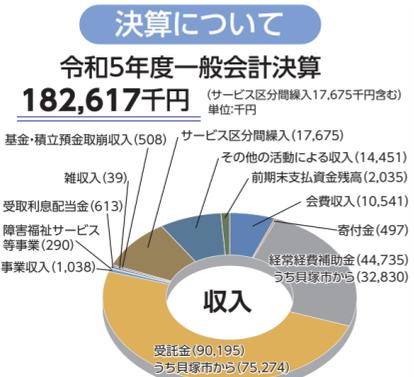
障害者等相談支援センター
障害に関する総合相談や専門相談、個別相談197名をはじめ、地域の相談支援体制の強化に向けた取り組み、地域移行・地域定着、権利擁護・虐待防止への支援、障害者自立支援協会の企画運営などを実施。

啓発宣言
○機関紙「社協からいづか」を年6回全戸配布し、あわせて視覚障害者向け音声版「声の広報」を発行。ホームページの充実を図った。

第29回社会福祉総会
令和5年11月18日、市民福祉センターで開催。関係者140名が参加。

財源の確保
○社会委員会費収入1054万1千円。
○共同募金599万9千円の実績をあげ、前年度実績により531万5千円の配分を受けた。

生活福祉資金貸付事業
福祉資金6件、教育支援資金16件、緊急小口資金8件の申請を受付。また令和4年に終了した新型コロナウイルス感染症特例貸付の償還猶予・償還免除等の窓口相談を167件受付。



貝塚市からの主な補助金・受託金 (単位:千円)

一般運営費	11,772
小地域ネットワーク活動推進事業費	15,437
日常生活自立支援事業費	3,921
ふれあい喫茶運営	1,650
ふれあい訪問	50
コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業	15,750
生活支援コーディネーター事業	20,000
子育て支援センター	11,941
一時預かり事業	2,934
ファミリーサポートセンター事業	4,360
基幹相談支援センター	16,800
家計改善支援事業	3,489

またまた、ニュービリー誕生だ。大ジャイアントジャースの谷翔平選手に続いて、大相撲夏場所を12勝3敗で初優勝した新小結大里閑太。初土俵から僅か7場所目で初優勝を飾った大里。1年前に初土俵を踏んだ力士が賜杯を抱くという、想像すらできなかったことが現実になった。大相撲史に輝く金星塔を打ち立てた大里は、石川県出身の23歳。身長1メートル92センチ、体重181キロの恵まれた体を生かした圧力をかけた押し相撲が持ち味。厚生労働省は、令和5年の人口動態統計を発表した。一人の女性が生涯に産む子どもの数を示す合計特殊出生率は1.20となり、過去最低を更新した。1年間に生まれた子どもの数(出生数)も72万7277人で過去最少。出生率と出生数とも8年連続のマイナスとなった。出生数から死亡率を引いた人口の自然増減は84万8659人の減で、過去最大の減少幅を記録した。自然増減の減少は17年連続。第1子を出産した時点の女性の平均年齢は31.0歳に上昇して過去最高水準となり晩婚化が一層進んだ。少子化と人口減少の問題は、背景には経済的不安を理由に結婚や出産を諦めるケースの増加があり、出産後の仕事と家庭の両立にもなお課題が残る。さあ7月は名古屋場所が始まる。子どもを夢をお年寄りに希望を、新聞脇大里の活躍が今から楽しみです。

照準

またまた、ニュービリー誕生だ。大ジャイアントジャースの谷翔平選手に続いて、大相撲夏場所を12勝3敗で初優勝した新小結大里閑太。初土俵から僅か7場所目で初優勝を飾った大里。1年前に初土俵を踏んだ力士が賜杯を抱くという、想像すらできなかったことが現実になった。大相撲史に輝く金星塔を打ち立てた大里は、石川県出身の23歳。身長1メートル92センチ、体重181キロの恵まれた体を生かした圧力をかけた押し相撲が持ち味。厚生労働省は、令和5年の人口動態統計を発表した。一人の女性が生涯に産む子どもの数を示す合計特殊出生率は1.20となり、過去最低を更新した。1年間に生まれた子どもの数(出生数)も72万7277人で過去最少。出生率と出生数とも8年連続のマイナスとなった。出生数から死亡率を引いた人口の自然増減は84万8659人の減で、過去最大の減少幅を記録した。自然増減の減少は17年連続。第1子を出産した時点の女性の平均年齢は31.0歳に上昇して過去最高水準となり晩婚化が一層進んだ。少子化と人口減少の問題は、背景には経済的不安を理由に結婚や出産を諦めるケースの増加があり、出産後の仕事と家庭の両立にもなお課題が残る。さあ7月は名古屋場所が始まる。子どもを夢をお年寄りに希望を、新聞脇大里の活躍が今から楽しみです。

活動しています

手話サークル「さくら貝」は現在会員数27名で、貝塚市民福祉センター3階で毎週火・木曜日の午後13時に活動しています。火曜日の例会は、手話の表現・読み取りの学習や、



手話を使ったゲームで楽しみながら自然に身につくように工夫しています。木曜日の交流会は、机上での学習から離れ、聴覚障害者と自由におしゃべりする実践の場です。手話に身振りをまじえた楽しい会話

話が飛びかいます。サークルでは手話の学習だけでなく、聴覚障害者の社会参加や生活向上、より深い理解を求める署名活動やイベント参加等の活動も行っています。また、熊取町の重聴覚障害者施設「なかまの里」利用者のお買い物お手伝い等のボランティアも大切な活動です。「手話奉仕員養成講習会」終了後に入会し手話の学習を続けている会員、貝塚市に手話通訳者として登

録し、市の行事や個人の通院や学校行事等で活躍している会員、手話歴に関わらず一緒に学んでいます。平成30年に「貝塚市手話言語条例」が制定されました。多くの方に手話という言語を知っていただき、聴覚障害者がどこでも手話で自由に話せる社会になることを願います。手話を手話をやってみませんか。

手話で自由に話せる社会に

7月は「愛の血液助け合い運動」月間です

「助けたい 思いが届く 献血で」

毎年7月に「愛の血液助け合い運動」月間を実施しています。本運動を通じて、国民一人ひとり、特に若い世代に献血へのご理解とご協力を呼びかけます。献血は命を救う身近なボランティアです。ぜひ、献血のご協力をお願いいたします。

愛の献血
日付 7月20日(土)
場所 イオン貝塚
時間 10時～12時、13時～16時30分
日付 9月7日(土)
場所 コープ貝塚
時間 10時～12時、13時～16時30分

問合せ先 貝塚市社会福祉協議会 ☎ 439-0294

善意の預託ありがとう

(令和6年4月16日～6月15日) <敬称略>
高橋 あかり 歯プラン200本、デンタルクロス200本

わきはまこども園

幼児連携型認定こども園

〒597-0073 大阪府貝塚市島中3丁目31番6号
TEL: 072-431-2151 FAX: 072-431-2150

おおぞらこども園

幼児連携型認定こども園

〒597-0091 大阪府貝塚市二色2丁目11-1
TEL: 072-432-5222 FAX: 072-432-6780

「安心・信頼・満足」して頂けるサービスを

貝塚誠心園

貝塚市森 1103-2
TEL: 072-446-8022

- 特別養護老人ホーム
- ショートステイ
- ケアプランセンター
- 診療所

高齢者地域福祉施設 さしまの里

貝塚市三ツ松 869-1
TEL: 072-446-8200

- 地域密着型特別養護老人ホーム(ユニット型個室)
- ユニット型ショートステイ(ユニット型個室)
- デイサービスセンター
- グループホーム
- 診療所

社会福祉法人 貝塚誠心園 <http://seishinen.com>

目が見えない見えにくい方へ

私たちと一緒に新しい世界で活動しませんか
健康増進に役立つスポーツや人との交流が広がるカラオケなど、あなたの参加を待っています!

貝塚市視覚障害者協会

事務局: 貝塚市役所 障害福祉課内
問い合わせ先: 井上 誠一(担当役員)
TEL 090-1025-0472

令和6年度 社協会員募集

◎会員(愛称:いきいきサポーター)になって地域福祉活動を応援してください!!

貝塚市社会福祉協議会(略して「社協」)は、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らすため、住民自身による「福祉のまちづくり」を推進するための民間団体です。きめ細かな地域福祉活動を継続して行うためには、安定した活動資金を確保することが必要です。会員募集に、みなさまのご協力をお願いします。

***会費(年額)・一般会員(1口)1,000円**
・賛助会員(1口)5,000円

***個別にご協力いただく場合の申込方法**
①窓口申込 社協事務局で受付しております。
②ゆうちょ銀行口座名義 社会福祉法人 貝塚市社会福祉協議会 口座番号 00930-3-174735
*振替用紙の通信欄に「氏名、住所、(校区名)、連絡先」をご記入ください。(校区名をご記入いただいた場合は、校区に70%還元いたします)

◎会費の使いみち
地区福祉委員会では…

- 独自ふれあい訪問
- 地域の環境美化運動
- 登下校時の子どもの見守り
- 防災研修・防災訓練の実施
- 福祉委員会だよりの発行
- 校区ボランティアの育成
- 青少年・障害者など分野別研修会
- 小地域ネットワーク活動の推進(いきいきサロン活動・見守り・声かけ活動など)ほか

市社協では…

- ふれあい訪問事業
- 移送サービス事業
- 高齢者等安否確認事業(あんしんコール)
- 車椅子・擬体験装具の貸し出し
- ボランティアセンターの運営
- 学童ボランティアの育成
- 障害者団体等へ事業費助成
- 地域福祉活動計画事業の推進
- 広報紙の発行

70%は地区に還元

ご協力いただいたみなさんの会費は、いったん市社協で集約し、実績に応じて50%を福祉委員会事業へ、20%を小地域ネットワーク事業として各地区福祉委員会に還元します。残り30%を社協事業に有効活用させていただきます。